

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 明治時代

名前

得点

/9

**問1** 不平等条約の改正に関する歴史的経緯について、1894年にイギリスとの間で領事裁判権（治外法権）の撤廃を実現させた人物として正しいものは誰ですか。（2019年 福島県公立入試 類似）

1. 陸奥宗光                      2. 小村寿太郎                      3. 岩倉具視                      4. 大隈重信

**問2** 1890年に実施された第1回衆議院議員総選挙において、選挙権を与えられた有権者の条件として正しいものはどれですか。

（2022年 滋賀公立入試 類似）

1. 直接国税15円以上を納める、満25歳以上の男子                      2. 直接国税10円以上を納める、満25歳以上の男子                      3. 直接国税15円以上を納める、満20歳以上の男子                      4. 納税額に関わらず、満25歳以上のすべての男女

**問3** 明治初期の歴史の流れにおいて、士族による武力反乱（西南戦争など）が鎮まった後の時期（1880年頃）の状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 香川公立入試 類似）

1. 言論によって政府を批判し、国会の開設を求める国会期成同盟が大阪で結成された。                      2. 不平士族たちが江戸幕府の再興を目指し、各地で政府軍と激しい戦闘を繰り広げた。                      3. 藩閥政治を維持するために、政府自らが日本初の本格的な政党である自由党を結成した。                      4. 憲法が公布された直後であったため、国会開設を求める運動は急速に沈静化した。

**問4** 明治政府が「殖産興業」の政策を推進した目的として、最も適切な背景を説明しているものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 欧米の近代的な技術や産業を導入することで経済力を高め、国家の自立を図るため                      2. 江戸時代から続く伝統的な農業や手工業を保護し、農村の生活を安定させるため                      3. 土地の所有権を明確にすることで、地価に応じた現金による安定した税収を得るため                      4. 身分制度を廃止して四民平等を達成し、すべての国民が自由に職業を選べるようにするため

**問5** 日清戦争後の日本の貿易構造の変化を説明した文として、当時の状況を正しく述べているものはどれですか。（2023年 長崎公立入試 類似）

1. 大規模な紡績工場の発展により、綿糸の輸出量が輸入量を上回った。                      2. 重化学工業が飛躍的に発展し、鉄鋼の輸出額が生糸の輸出額を超えた。                      3. 原料の綿花を国内で自給できるようになり、綿糸の生産コストが大幅に低下した。                      4. 綿糸の輸入量が増加したことで、国内の綿花栽培が再び盛んになった。

**問6** 明治政府が近代化を進める中で、1872年の学制公布や1890年の教育勅語発布といった教育の整備と並行して行われた、通信分野における「近代化」の具体的な取り組みの説明として正しいものはどれですか。（2023年 佐賀公立入試 類似）

1. 郵便制度が整えられ、電信が開通した                      2. ラジオ放送が開始され、全国にニュースが流れた                      3. 電話交換手やタイピストの養成が全国で始まった                      4. テレビの普及により、視覚的な情報伝達が一般化した

**問7** 明治時代の文化について述べた文章のうち、空欄にあてはまる人物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「フランスで学び、帰国後に明るい色彩で『湖畔』などの西洋画を描いて日本の洋画界をリードしたのは（ a ）である。一方、アメリカ人のフェノロサとともに、西洋化の波の中で軽視されていた日本美術の価値を再評価し、伝統美術の振興に努めたのは（ b ）である。」（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. a：黒田清輝、b：岡倉天心                      2. a：岡倉天心、b：黒田清輝                      3. a：森鷗外、b：岡倉天心                      4. a：黒田清輝、b：菱川師宣

**問8** 北里柴三郎がペスト菌を発見した1894年から、彼が北里研究所を創立した1914年までの期間に日本で起きた外交上の出来事を、年代順に正しく並べたものはどれか。（2023年 千葉県公立入試 類似）

1. 日清戦争の講和後に三国干渉が起り、その後、ロシアに対抗するため日英同盟が結ばれ、さらに韓国併合へと至った。                      2. ロシアに対抗するために日英同盟が結ばれた後、日清戦争後の三国干渉が起り、最終的に韓国併合が行われた。                      3. 三国干渉によって遼東半島を返還した後、韓国併合が最初に行われ、その後にイギリスとの間で日英同盟が締結された。                      4. 日清戦争後に二十一か条の要求を清に突きつけ、その反発として三国干渉が起り、最後に日英同盟が結ばれた。

**問9** 1889年に公布された、日本で最初の近代憲法である大日本帝国憲法の性質について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2022年 香川公立入試 類似）

1. 天皇が主権者として統治権を総攬し、国民に授ける形で制定された欽定憲法である。                      2. 国民が主権者であることを明記し、国民の代表による議会が制定した民定憲法である。                      3. 内閣総理大臣に最高権限を与え、議会の承認なしにすべての法律を制定できる制度である。                      4. 基本的人権を侵すことのできない永久の権利として、全面的に保障する内容である。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 陸奥宗光	外務大臣の陸奥宗光は、日清戦争が始まる直前の1894年に、イギリスとの間で日英通商航海条約を調印し、領事裁判権の撤廃に成功しました。これにより、長年の課題であった治外法権の解消が実現しました。なお、関税自主権が完全に回復したのはその後の1911年であり、小村寿太郎が担当しました。
問2	<b>答え 1</b> 直接国税15円以上を納める、満25歳以上の男子	大日本帝国憲法下の最初の総選挙では、選挙権に厳しい制限が設けられていました。具体的には「直接国税15円以上を納めること」「満25歳以上であること」「男子であること」の3つの条件をすべて満たす必要がありました。当時の15円は非常に高額であり、この条件を満たす有権者は全人口の約1.1パーセントという、地主を中心とした一部の富裕層に限られていました。
問3	<b>答え 1</b> 言論によって政府を批判し、国会の開設を求める国会期成同盟が大阪で結成された。	1877年の西南戦争を最後に士族による武力反乱が終息すると、反政府運動の主流は武力から言論による「自由民権運動」へと変化しました。その過程で、1880年に大阪で国会期成同盟が結成され、全国から集まった代表者が国会開設の請願を行うなど、運動は組織化・全国化していきました。
問4	<b>答え 1</b> 欧米の近代的な技術や産業を導入することで経済力を高め、国家の自立を図るため	当時の日本は、欧米諸国との不平等条約を改正し、対等な関係を築く必要がありました。そのためには、軍事力の強化だけでなく、経済を近代化して国家の力を強めることが不可欠であり、政府主導で西洋の産業や技術を導入する政策が採られました。
問5	<b>答え 1</b> 大規模な紡績工場の発展により、綿糸の輸出量が輸入量を上回った。	日清戦争前後、大阪紡績会社などの大規模な工場が設立され、蒸気機関を用いた機械による大量生産体制が整いました。この結果、安価で質の高い綿糸が生産されるようになり、国内需要を補うだけでなく、アジア諸国への輸出が拡大しました。なお、原料の綿花については海外からの輸入に依存するようになり、国内の綿花栽培は衰退しました。
問6	<b>答え 1</b> 郵便制度が整えられ、電信が開通した	明治政府は中央集権的な国家体制を築き、産業を発展させるために、情報の迅速な伝達を重視しました。1871年に始まった郵便制度と、1869年に東京・横浜間で開通しその後全国に広がった電信は、教育制度の整備と並んで近代日本の基礎を築く重要な役割を担いました。ラジオ、電話の普及、テレビなどは、明治初期の近代化以降の出来事です。
問7	<b>答え 1</b> a：黒田清輝、b：岡倉天心	黒田清輝はフランス留学で学んだ印象派の画風を日本に伝え、「湖畔」などの名作を残して日本の洋画（油絵）の基礎を築きました。岡倉天心は、お雇い外国人として来日したフェノロサとともに、当時衰退していた日本画などの伝統美術を保護し、東京美術学校の設立などを通じてその価値を国内外に広める活動を行いました。
問8	<b>答え 1</b> 日清戦争の講和後に三国干渉が起こり、その後、ロシアに対抗するため日英同盟が結ばれ、さらに韓国併合へと至った。	日清戦争が終結した1895年、下関条約で日本が獲得した遼東半島に対して、ロシア・ドイツ・フランスが返還を求める「三国干渉」が起こりました。これを受けて日本はロシアへの警戒を強め、1902年にイギリスとの間で「日英同盟」を締結して対抗しました。その後、日露戦争を経て日本の権益を強め、1914年の第一次世界大戦勃発直前となる1910年に「韓国併合」が行われました。二十一か条の要求は1915年の出来事であり、この期間には含まれません。
問9	<b>答え 1</b> 天皇が主権者として統治権を総攬し、国民に授ける形で制定された欽定憲法である。	大日本帝国憲法は、君主である天皇が定めて国民に与える「欽定憲法」の形式をとりました。ドイツ（プロイセン）の憲法を模範としており、天皇を主権者として陸海軍の統帥権などの強力な権限（天皇大権）を認める一方で、国民の権利は「法律の範囲内」という制限付きで認められていました。